

令和5年度病害虫発生調査速報第1号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

令和5年度 病害虫発生調査速報 第1号

1. 病害虫名： フジコナカイガラムシ

2. 対象作物： カキ

3. 調査結果の概要

- 1) 4月中旬に行った巡回調査では、発生圃場率が91.7%(4月下旬平年：2.9%)、寄生枝率が7.4%(4月下旬平年：2.5%)であった。
- 2) フジコナカイガラムシの発生が平年より早く、また発生量が多いことから、今後カキをはじめとする果樹での被害が懸念されるため、早めの防除を行う必要がある。

4. 防除対策

- 1) フジコナカイガラムシの成虫、卵のう、3齢幼虫はろう物質に覆われ薬液をはじいてしまい、薬剤による防除効果が劣ることがあるため、1～2齢幼虫主体の時に薬剤散布する。
- 2) 現在、越冬世代幼虫の発生期であり、4月下旬には成虫や卵のうが主体となると考えられ、香川県果樹研究同志会防除暦の4月下旬に記載されているオリオン水和剤40等を4月中旬に前倒しして散布する。
- 3) 本種は薬剤がかかりにくい新梢基部や樹皮の間隙に潜んでおり、薬剤のかけむらがないように十分な薬量をていねいに散布する。特にスピードスプレーヤー(SS)による防除では、かけむらがないよう走行経路を見直すなど、注意が必要である。



写真1 新梢基部に潜むフジコナカイガラムシ

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

